

【別紙様式1】 大分市立長浜小学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべて全国・県の平均を大きく上回っているものの、上位層の厚さに平均が押し上げられているので、目標値に達しなかった児童の課題の把握と実態に応じた個別指導のあり方が課題。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5.6年生の単元末テストでは、平均90%に達した児童は8割以上いる。ただし、評価テストの内容が基礎・基本の内容のため、活用力の評価方法を工夫する必要がある。 	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをまとめ、わかりやすく伝える力(書く・話す) ・課題に対し、みんなで解決しようとする学習の展開 ・疑問に思ったことを主体的に調べようとする力 ・計画的に学習する力 <p>与えられた課題に対して、個々の考えをより深めたり広げたりするための話し合い活動の場を通して、さらに思考・表現・判断力を高める必要がある。</p>
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の授業の中で、課題を提示しまとめのある授業を行う→ どの学年も定着しつつある ・鍛える場（習熟の場）を明確にした授業→ スキルタイムは教科・内容を実態に即したものに。 ・自己選択、自己決定の場を位置づけ、主体的な学びの場を確保する→ 教師の話の数を少なくする方向へ。 <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携による家庭学習時間の確保（10分×学年+10分）保護者アンケート76%の達成 ・各単元末テストの得点90%以上8割以上 高学年算数で100%達成 	

学力に関する達成指標	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善を進め、個別学習の充実を図ることにより、単元末テストの得点が90%以上の児童数を8割とする。また、70%以下を1割未満にする。 ○全国・県・市の学力調査において、全教科・領域で平均をクリアする。
------------	---

